

芦屋の名産品に「ASHIYA BEER」が誕生

芦屋市上下水道部と六甲ビール醸造所との共同研究から生まれた「ASHIYA BEER」が話題になっている。六甲水系の芦屋川の水の美味しさをPRし、同市の名産品になるような商品をと、六甲ビール醸造所と共同で研究を重ねて誕生した地ビールだ。芦屋川の上流から取水し奥山浄水場で緩速ろ過する。薬品を使わず時間をかけて砂の層を通すと、より純良な水に。その水を仕込みに使うことでビールの味や香りが一層際立つ。7月22日から芦屋市内限定で販売を開始した芦屋ビールは、トロピ



カルフルーツを思わせる甘いアロマと柑橘系の味わい。強めの苦みが心地よく残る。ラベルは、心のゆとりを持ち合わせている芦屋の女性をイメージして同市が作成したもの。また、第二弾として10月上旬に新しい味の発売が決定。シャンパンの製法などに用いられる二次発酵を行い、まるで洋酒のような甘い味わいと香りを感じられるビールに。六甲ビール醸造所の担当者は「秋の夜長にまったり飲んでほしい」と話す。1本330ml 518円。市内各酒販店、大丸芦屋店、いかりスーパー芦屋店などで販売。



芦屋市山手町の北にある奥山浄水場、芦屋川上流の取水口。良質な水なため、薬品を使わずろ過できる。



芦屋市長と六甲ビール醸造所の専務(左)。7月に行われた研究成果の報告会のようす。

「自転車事故マップ」小学校校區別に作成

西宮市は、自転車事故の多発地帯や注意すべきポイントなどを小学校校區別にまとめた「自転車事故マップ」を作成し、市のホームページで公開した。西宮警察署から過去3年間のデータ提供を受け、西宮市交通安全対策課が分析。事故が通勤通学ラッシュにあたる8時と17時前後に多いこと。交差

【安井小学校校區の自転車マップ】

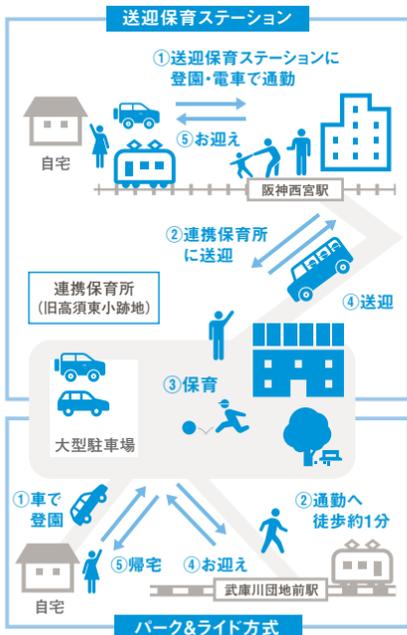


点に進入する自転車が減速せず、車両と出会い頭に接触、衝突する事故が多いことなどが浮かび上がった。特に朝、駅に向かう自転車がスピードの出し過ぎで事故に遭うケースが目立ったという。これらのデータを元に、事故多発地点や事故の特性、注意すべき点を記載。校區別にすることで、近所でのどのような事故が起きているか、どの場所に気を付けるべきかがよく分かる。同市では交通事故件数は減少傾向にあるが、自転車が絡む事故の割合が増えているという。今後は各学校での安全点検にも活用していく予定。

西宮市 パーク&ライド方式の保育所と送迎保育ステーション 同時開所予定

西宮市は待機児童の解消を図るため、2019年春に民間事業者によるパーク&ライド方式の認可保育所を同市高須町に開設する。同時に阪神西宮駅前に小規模保育施設と送迎保育ステーションを設置。そこから保育所までバスで送迎するシステムを同一事業者により整備する。2017年4月現在、希望通りに入所できなかった児童は830人(前年比+194人)。しかし保育需要の高い地域や市の中心部では確保できる保育用地が乏しい。そこで、市南部の旧高須東小学校跡地のうち約5,000㎡を活用し保育所を整備し、保護者用の大型駐車場を設ける。これによって自宅から車で登園し、敷地内駐車場に車を止め、最寄り駅(武庫川団地前駅)からの通勤が可能になる。また、阪神西宮駅前のエビスタ西宮に送迎保育ステーションを設置し、そこで受け入れた児童(3~5歳児)をバスで旧高須東小跡地にできる保育所に送迎する。エビスタ西宮には小

規模保育施設もあり、0~2歳児も受け入れ可能。保護者は朝夕に送迎保育ステーションに送り迎えをすればよく、送迎の負担が軽減される。定員は120名で、そのうち60名をパーク&ライド方式、30名を送迎保育ステーションから受け入れる。



神戸市の子育て情報発信WEBサイト「ママフレ」からアプリが登場

神戸市は「ママフレアプリ『子育てタウン』」を8月28日に公開した。これは、同市の子育て支援に関する情報を必要とする人に、ダイレクトに情報を届けることを目的としたもの。2012年より子育てに関する行政サービスを紹介するWEBサイト「ママフレ」を運営してきた。このアプリでは、誰もが簡単に検索・活用できる「ユニバーサルメニュー」を採用したWEBサイトと連動し、最新の情報を直接配信できるように開発した。また、子育て世代などに「神戸で子育てしてみたい、神戸で子育てしてよかった」と感じてもらうという同市の目的に賛同し、子育てにやさしい取り組みを行っている50以



神戸市のWEBサイト、子育て応援団「ママフレ」。



今回公開がはじまった「ママフレ」のアプリ画面。子育てにやさしい取り組みを行っている50以上の施設・店舗を掲載していることが特徴。

上の施設・店舗が「KOBE子育て応援団」として登録済みで、スマートフォン端末のGPS機能を基に、現在地から登録施設までの経路や、徒歩での距離及び所要時間を表示する機能も併せて追加。市の担当者は「これからも子育て世代に役立つ情報の充実をはかっていきたい」と話す。従来のいざという時の辞典的な役割に加えて、子育て世代のインタビュー記事や店舗検索などのコンテンツの充実を図り、毎日利用できる身近な情報アプリを目指す。ダウンロードはApp Store、Google Playより『子育てタウン』で検索。

性犯罪被害の相談は「#8103」へ

～あなたの心(ハート)に寄り添う相談電話 あなたの声を受け止める～ 協力:兵庫県警察

各都道府県警察には性犯罪被害相談窓口が設置されている。被害者が相談しやすい環境を整備するため、全国共通の短縮ダイヤル番号「#8103」が導入された。この番号に電話すると、発信場所を管轄する都道府県警察の性犯罪被害相談窓口につながる仕組みとなっている。

一人で悩まず、まず相談を

性犯罪は被害者の人格と尊厳を傷つける極めて悪質な犯罪で、被害者が受ける苦痛は肉体的にも精神的にも計り知れない。
「男性警察官には話しにくい」そのようなことでも、女性警察官が対応し親身になって話を伺うのが「性犯罪被害相談110番 レディースサポートライン」だ。
被害の警察への届出・相談はとても勇気のいることだが、躊躇せず「#8103」を活用してほしい。



【性犯罪被害110番 レディースサポートライン】

短縮ダイヤル「#8103」 電話・FAX 078-351-0110
電話受付は月～金(祝日を除く) 9時～17時
※土、日、祝日及び夜間は「留守番電話」等で対応